

globalforce.link 通信 [2016.5.11.]

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0032 号)

2016.5.11.

- ・globalforce(高度外国人)に関する人財活用のエッセンス、採用、教育
- ・本音トーク、法令関連にいたるまで、さまざまな情報を発信します。

\$\$\$name\$\$\$さま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

5月8日は、日本フィルハーモニー交響楽団60周年記念のコンサートが、池袋の東京芸術劇場ありました。

そこで私も所属している日本フィル協会合唱団が、初めてロシア語の「ダッタ
ン人の踊り」(参考:https://www.youtube.com/watch?v=ZtfIOF_4zDg)と
「グリンカ」を歌ったのですがとても感動でした。

以前から提案していることなのですが、日本の小中学校の音楽のクラスで、世界の国々の歌を、現地語で歌えるようにすることをやるべきです。

世界を旅しても、その国の歌を歌えれば、人と人の心は直ぐに通じ合います。

世界平和の輪を広げられるとと思うのです。

歌は人を豊かに、幸せにしてくれます。(^^)

■トピックス■

- 1.今週のフォーカス「証人の宣誓」
 - 2.勉強会・セミナー等のご案内
 - 3.摩訶珍(まかちん)編集後記

| 1 | 今週のフォーカス「証人の宣誓」

たまたまある本を読んでいたところ、アメリカの法廷での証人の宣誓が書かれていて、なるほど…。と感じたのでご紹介致します。

私は本物の法廷をアメリカで見たことがないので、テレビの映像からしか知らないのですが、証人になる人は、聖書に手を置いて裁判官に向けて宣言をするんですね。

その宣誓がこれです。

「真実を述べること、

真実をすべて述べること、

真実だけを述べることを

神にかけて厳粛に誓いますか？」

日本語を英語に訳すときに、その言葉の主語は何なのか？目的語は何なのか？

と悩むことがあります。

最たるものは文章の最後につける「よろしくお願ひいたします。」という言い

回しですが、一体相手に『何』をよろしくお願いしているのか、また『よろしく』

とはどういう行為なのか、訳すことができません。

文脈から想像しろ！ということなのかもしれません、文法が全く異なる言語

の人たちからしたら、とんでもなく意味不明の言語ですよね。

そう考えると、このアメリカの宣誓には、あいまいなところがありません。

さまざまな文化の人たちが生活する国ならではの、知恵と工夫が入っているよう

に感じます。

以前、『空気を読めない奴』という言葉が流行りましたが、日本のマネージャ

ーは、globalforce(高度外国人財)を活用しようと考えるのなら、その空気に

「色」と「匂い(臭い)」を付けることを意識的に行える能力が求められると感

じます。



| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]



次回の勉強会は、来週の19日となります。

今回は、第一回目のワークショップROMAの結果に基づいた、

『外国人留学生の採用に伴う、分析と課題』

と題して、ワークショップROMAのご報告も兼ねてご説明をしたいと

考えております。

2016年5月19日(木) 14:00-16:00

場所:星陵会館(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

<http://www.seiryokai.org/kaikan/map.html>

何卒よろしくお願ひいたします。



| 3 | 摩訶珍(まかちん)編集後記



ロシア人の友達がいるのですが、彼と話していると、共産圏だったソビエト連邦へのイメージが、いかに自由主義圏のプロパガンダによって築かれ、私たちがそれに洗脳されていたかが良くわかります。

会ったことも、行ったこともない国の人へのイメージなんて、結構いい加減なものです。どこで読んだか、映画等で観たか、誰から聞いた情報だけで、勝手に作り上げたものだからです。

外国人留学生への「偏見」も、非常に限られた情報によるものが多い気がします。

人と人ですから、いろんなことはありますが、心さえ閉ざさなければ道は開けると思います。

なんせ、以前の「鬼畜米英」と今では大の仲良しなのですから。(^^;)

異文化コミュニケーション研究所(R)のミッション

『日本を、世界中の優秀な人財が活躍する国にする』

～ 多様性のある globalforce(高度外国人)を活躍へ導く ～

A decorative horizontal pattern consisting of a sequence of alternating upward-pointing triangles and downward-pointing triangles.

※本メールは、当研究所関係者と名刺交換をさせて頂いた方、セミナー等にご参加頂いた方々等、ご縁を頂いた方々にお送り致しております。

いつもありがとうございます。

「」「」異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)

」」」」 <http://www.globalforce.link>

」」」 横浜市神奈川区青木町 3-15 SS ビル 201 号室

Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577

」 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

(当研究所は、株式会社フィクス）不^トの事業部です。)